

JNSA ANNOUNCE

1. 主催セミナーのお知らせ

● 2007年度JNSA活動報告会(予定)

会期：2008年6月13日(金)

主 催：NPO日本ネットワークセキュリティ協会

会 場：ベルサール八重洲

参加費：無料

詳細については、JNSAホームページをご覧下さい。

2. 後援・協賛イベントのお知らせ

1. RSA Conference Japan 2008

会期：2008年4月23日(水)～24日(木)

主 催：RSA Conference Japan 2008実行委員会

会 場：ザ・プリンスパークタワー東京

公式サイト <http://www.rsaconference.com>

日本語サイト <http://www.cmptech.jp/rsaconference/>

2. CeCOS II Tokyo

(Counter eCrime Operation Summit II in Tokyo)

会期：2008年5月26日(月)～27日(火)

主 催：The Anti-Phishing Working Group (APWG)

共 催：フィッシング対策協議会

会 場：グランドプリンスホテル赤坂

http://www.antiphishing.org/events/2008_operationsSummit_jp.html

3. 第12回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム

会期：2008年6月5日(木)～7日(土)

主 催：サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム

実行委員会

会 場：ホテル「コガノイベイ」(和歌山県白浜町)

<http://www.sccs-jp.org/>

3. JNSA 部会・WG 2007 年度活動

1. 政策部会

(部会長：西本逸郎 氏/ラック)

調査事業や様々な基準・ガイドラインの策定、他団体との連携などを行う。

成果物目的のワーキンググループ

【セキュリティ被害調査WG】

(リーダー：大谷尚通 氏/NTTデータ)

2007年1年間に発生した情報セキュリティ被害の実態を調査することにより、情報セキュリティインシデントが組織に与えるインパクトを定量的に分析する。

年間の活動予定としては、年間の個人情報漏洩事故・事件の分析による、想定損害賠償額の算定と株価への影響の検証。

予定成果物は「2007年度 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書」とその英訳版。

【セキュリティ市場調査WG】

(リーダー：勝見 勉 氏/リコー・ヒューマン・クリエイツ)

ベンダー側、ユーザー側から、日本の情報セキュリティ市場規模を定量的に把握し、その動向を分析して、情報セキュリティ産業にとっての参考データを提供する。今回も、従来から継続している経済産業省の「情報セキュリティ対策ベンチマーク策定等事業(情報セキュリティガバナンスの確立促進事業)」の中の情報セキュリティの現状に関する調査をプロジェクトとして行う。

予定成果物は、2007年度版国内情報セキュリティ市場調査報告書。

【セキュア・システム開発ガイドラインWG】

(リーダー：丸山司郎 氏/ラック)

JNSAよりシステム開発に於けるセキュリティガイドラインを広く公開することにより、

- 1) 将来ISO15408等への国際標準への橋渡しをにらみながら、段階的に分かりやすく実施でき、
- 2) しかも、システムオーナもその妥当性(システムの社会的責任と費用対効果)を合理的に判断でき、
- 3) 利用者の財産などの保護対策内容を明示でき、
- 4) システム開発者や、運用者(SI/SO)の適切な発展と競争により、
- 5) IT社会の健全な発展への貢献をねらうものである。

予定成果物は、「セキュアシステム開発ガイドライン」。

【内部統制におけるアイデンティティ管理WG】

(リーダー：宮川晃一 氏/グローバルセキュリティエキスパート)

内部統制とアイデンティティ・マネジメントの関連をWG討議の中で紐解き、必要性の啓発および導入指針の提示による普及促進、市場活性化を狙って行きたい。

重点整理テーマとしては、以下の3つを掲げた。

- 1) アイデンティティ・マネジメントの意義
- 2) 内部統制におけるアイデンティティ・マネジメントの位置づけ
- 3) アイデンティティ・マネジメント導入にかかる導入方針

予定成果物は、内部統制におけるアイデンティティ・マネジメント解説書とセミナーの実施。

【情報セキュリティランキングWG】

(リーダー：佐野智己 氏/凸版印刷)

企業における情報セキュリティ確保に向けた取り組みについて、ステークホルダとのコミュニケーションや情報開示の充実度、社会貢献活動などの観点にも着目したランキングを算定し、定期的に公表する。年間の活動としては、ランキング算定に係る基本設計、年度末目標に2007年版ランキングを実験的に算定(公表の是非や方法等については別途協議)。

予定成果物は、ランキング結果。

2. 技術部会

(部会長：二木真明氏/住商情報システム)

ネットワークセキュリティに関する調査・研究や、実証実験などを行なう。その他、予算を得た活動は、プロジェクトとして活動を進める。

成果物目的のワーキンググループ

【ハニーポットWG】

(リーダー：園田道夫 氏/JNSA研究員)

ハニーネットのリニューアルと、各種マルウェアなどの感染とその後の活動の観察をおこなう。

予定成果物は、マルウェア観察日記。

【WEBアプリケーションセキュリティWG】

(リーダー：加藤雅彦 氏/アイアイジェイテクノロジー)

2006年度テーマの継続として、Webシステム安全のための啓発コンテンツ作成を目的とする。年間の活動としては、月に1度程度の会合と2ヶ月に一度程度のコンテンツの発表を予定。コンテンツは、JNSAバイヤーズガイドサイト上にて掲載する。

予定成果物は、Webシステム安全啓発コンテンツ。

【セキュアプログラミングWG】

(リーダー：伏見論 氏/情報数理研究所)

ネットワークセキュリティに関するセキュアプログラミングの技術に関するコンセンサスを確立する。年間の活動としては、セキュアプログラミング技術マップの作成と、セキュアプログラミングに関する意識調査(アンケート調査)。

予定成果物は技術マップの作成。

【セキュアOS普及促進WG】

(リーダー：澤田栄浩 氏/JTS)

様々なタイプのセキュア基盤(OS)を利用したソリューションモデル考案、及び、当該技術の普及促進を図り、産業界のインフラにまで発展したインターネットを少しでも安全に利用できるよう社会貢献することを目的として活動を行う。

予定成果物は、セキュアOSを利用したソリューションモデルの紹介ドキュメントの作成

勉強会目的のワーキンググループ

【暗号モジュール評価基準WG】

(リーダー：小川博久 氏/情報セキュリティ大学院大学)

下記の動向把握及び、ベンダーとしての取組み方を議論する。

- ・米国、カナダの暗号モジュールのセキュリティ要件及び、評価制度
- ・同要件の国際標準化
- ・日本国における同要件及び評価制度

年間の活動としては、独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)により運用されている暗号モジュール試験及び認証制度(JCMVP: Japan Cryptographic Module Validation Program)に関する意見交換などをを行う予定。

【PKI相互運用技術WG】

(リーダー：松本泰 氏/セコム)

PKI相互運用技術に関する情報交換を行い、セミナーなどの開催による啓発を行う。

年間の活動としては、IETFの参加(年3回)、WGの開催、セミナー開催など。

予定成果物は、適当なテーマがあれば、ペーパをまとめる予定。

プロジェクト

【Challenge PKI】

(リーダー：松本泰 氏/セコム)

2007年度は、Multi-domain-PKIのRFC化と、今までのChallengePKI関係の報告書を中心にアスキーから出版する企画の調整を行う予定。

3. マーケティング部会

(部会長：古川勝也 氏/マイクロソフト)

JNSA自身の認知度向上と、ネットワークセキュリティに関する普及・啓発活動を行う。

【会員製品 PR 企画検討WG】

(リーダー：小屋晋吾 氏/トレンドマイクロ)

2006年11月に公開したJNSAバイヤーズガイドサイトのコンテンツの増強やアクセス増に向けての検討を行う。

【セキュリティ啓発WG】

(リーダー：平田敬 氏/ブリッジ・メタウェア)

2006年度同様、経済産業省の委託事業である「インターネット安全教室」の企画・運営を通してセキュリティ啓発活動を行う。今年度は、CD-ROM映像と冊子の新規作成、普及啓発イベントの開催を行う。

4. 教育部会

(部会長：安田直 氏/サイバー大学 IT総合学部教授

/JNSA主席研究員)

ネットワークセキュリティ技術者の育成のために、产学協同プロジェクトを進め、大学や企業で行うべき教育のカリキュラムの検討やユーザー教育の在り方についての調査・検討などを行なう。

【CISSP行政情報セキュリティCBK-WG】

(リーダー：大河内智秀 氏/NTTコミュニケーションズ)

2007年5月23日に「CISSP行政情報セキュリティ認定試験公式ガイドブック(約600頁)」を出版(アスキー社)。また、下部組織のCISSP行政情報セキュリティ試験作成サブWGでは、CISSP行政情報セキュリティ認定試験の試験問題の作成、修正等を行う予定である。

【SecBok(セキュリティ知識分野作成) WG】

(リーダー：長谷川長一 氏/日本ユニシス)

2003～2004年度の情報セキュリティスキルマップ作成WG、2005年度の情報セキュリティ推進教育検討WGの活動と成果を継承し、情報セキュリティに係る人材に必要な知識項目である「情報セキュリティスキルマップ」の改訂と、その活用方法(セキュリティ職種ごとのスキルのチェック、既存の教育コースや資格とのマッピング)を検討していく。

予定成果物は、「情報セキュリティスキルマップ2007年度版(仮)」と「情報セキュリティスキルチェックリスト(仮)」

【セキュリティ講師スキル研究WG】

(リーダー：長谷川長一 氏/日本ユニシス)

当WGでは様々なところで必要性が叫ばれながら、人材像も示されず育成が進まない「セキュリティに係る人材」を育成する講師、そのスキルの調査研究を行う。

セキュリティ講師に必要なスキルを、前提スキル(ヒューマンコンピテンシー、教育理論)、コアスキル(インストラクション、テキスト作成、カリキュラム作成、その他)、応用スキル(ノウハウ、ドウハウ)という枠組みと、講師業務の種別(1.セミナー(講演に近いもの)、2.座学、3.演習(実機使用)、4.演習(個人；試験問題など)、5.演習(グループでのワークショップ、ケーススタディなど)、6.その他(TTT講師など))で調査研究を行い、「セキュリティ講師スキル」を策定していく予定。

その内容をもとに、TTT(講師トレーニング)、T-1グランプリ(若手講師のコンテスト)など実証実験を通して、講師の育成および「セキュリティ講師スキル」の評価と見直しを実施する。

予定成果物は、「講師スキル調査研究報告書(仮)」

【セキュリティリテラシーベンチマーク作成WG】

(リーダー：大構裕則氏/JMCリスクマネジメント)

組織におけるIT利用者を対象として、基礎的な情報セキュリティ知識の理解度をセルフチェックできるサイトを構築して、情報セキュリティの普及活動を行う。(当活動は、経済産業省委託事業として実施)。2007年度は、新規問題の作成・検討(100問程度)、企業内管理者向けの機能の追加、現状のサイトの機能の拡充、普及広報活動を行う。

予定成果物は、理解度セルフチェックサイト改訂版(2008年1月公開)。

5. U40部会

(部会長：加藤雅彦 氏/アイアイジェイテクノロジー)

若年層の積極的な運営参加による団体の若返り、会員間の交流の強化、若年層の活動活性化のための情報流通強化、セキュリティ業界や社会への貢献・関与、などを目的として2007年度新たに発足。メンバーも19名に増え、下期になり正式にU40部会として活動を開始。毎月の勉強会をはじめ、40歳以下のメンバーの交流を積極的に図っている。新たにJNSAラボネットの設計・運用のためのWGを設立。

【JNSAラボネットWG】

(リーダー：坂本 慶 氏/ディアイティ)

ワーキンググループの活動における、実環境を使った技術検証などが円滑に行えるように、検証環境の設計と構築を議論し、実際の環境構築を行う。またU40部会のWGとして、本活動を通して若手メンバーのスキル向上を図る。

6. 西日本支部

(支部長：井上陽一 氏/JNSA顧問)

JNSA西日本支部は関西に拠点を置くメンバー企業の協賛の下、西日本におけるネットワーク社会のセキュリティレベルの維持・向上並びに、日々高まる情報セキュリティへのニーズに応えるべく、先進性を追及すると共に、質の高いサービスを提供する事を目的として活動する。今年度も引き続き関西方面でのセキュリティ啓発セミナーを中心に活動を行う。

【企画運営WG】

(リーダー：井上陽一 氏/JNSA顧問)

現場に最も近いと言う支部の存在特性を生かしたユーザ視点での啓蒙・啓発、対策度の評価、戦略的提言の三位一体化を実現し、J N S A の成果物の活用を期待するユーザ層に届けると共に、改善要望等を拾い上げ・中央に届けたい。

年間の活動としては、情報セキュリティチェックシートのアンケート活動・ヒアリング活動を実施(7～8月)。11月にインフォテックのセミナー協賛。

予定成果物は、情報セキュリティチェックシートのアンケート・ヒアリング結果集約。

【情報セキュリティチェックシートWG】

(リーダー：嶋倉文裕 氏/富士通関西中部ネットテック)

情報セキュリティチェックシートを使用することにより、中堅・中小企業の経営者(経営層)が気付きを超えた企業価値向上の視点で、自社のセキュリティ対策の現状を認識し、対応して頂く上でのガイダンスとなるような情報セキュリティチェックシートの作成を目標として活動する。

予定成果物は、中堅・中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン。

【情報セキュリティ教育事業者連絡会】

(代表：与儀大輔 氏/ラック)

「情報セキュリティ教育事業者連絡会」は、我が国における情報セキュリティ人材の質の向上と量の拡大を効果的に推進することを目的とし、2007年10月1日に発足された。

連絡会各会員団体の運営する資格の位置付け、キャリアパスに対する共通認識の提示、施策提案、さらには各種教育機関との連携によるコンテンツの共同利用など、情報セキュリティ人材育成に関する様々な情報を社会に広く提供し、人材育成の拡大に向けた様々な取り組みを推進する。

活動詳細は、ホームページ参照。

<http://www.jnsa.org/isepa/index.html>

4. JNSA 役員一覧 2008年1月29日現在

会長 佐々木 良一

東京電機大学 教授

副会長 高橋 正和

マイクロソフト株式会社

副会長 大和 敏彦

ブロードバンドタワー株式会社

理事(50音順)

足立 修 株式会社シマンティック

後沢 忍 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所

内田 昌宏 株式会社ネットマークス

遠藤 直樹 東芝ソリューションズ株式会社

大坪 武憲 新日鉄ソリューションズ株式会社

勝見 勉 リコー・ヒューマン・クリエイツ株式会社

川上 博康 セコムトラストシステムズ株式会社

金 住治 株式会社フォーバルクリエーティブ

久我 信之 マカフィー株式会社

後藤 和彦 株式会社大塚商会

小屋 晋吾 トレンドマイクロ株式会社

佐藤 邦光 大日本印刷株式会社

下村 正洋 株式会社ディアイティ

武智 洋 横河電機株式会社

玉井 節朗 株式会社IDGジャパン

西尾 秀一 株式会社NTTデータ

西本 逸郎 株式会社ラック

日暮 則武 東京海上日動火災保険株式会社

山野 修 RSAセキュリティ株式会社

吉原 勉 株式会社アイアイジェイテクノロジー

監事

土井 充 公認会計士 土井充事務所

特別顧問

石田 晴久 サイバー大学 IT 総合学部 学部長

顧問

井上 陽一

今井 秀樹 中央大学 教授

北沢 義博 霞が関法律会計事務所 弁護士

武藤 佳恭 慶應義塾大学 教授

前川 徹 サイバー大学 教授

村岡 洋一 早稲田大学 教授

安田 浩 東京電機大学 教授

山口 英 奈良先端科学技術大学院大学 教授

吉田 真 東京大学 教授

事務局長

下村 正洋 株式会社ディアイティ

5. 会員企業一覧 (2008年1月29日現在 220社 50音順)

【あ】

(株)アークン
RSAセキュリティ(株)
(株)アイアイジェイ・テクノロジー
アイエックス・ナレッジ(株)
(株)ITプロフェッショナル・グループ
(株)アイ・ティ・フロンティア
(株)IDGジャパン
アイネット・システムズ(株)
(株)IPイノベーションズ
アイマトリックス(株)
(株)アクシオ
(株)アクセス・テクノロジー
あづさ監査法人
(株)網屋(株)
アラクサラネットワークス(株)
(株)アルゴ21
(株)アルテミス
アルプスシステムインテグレーション(株)
アンテナハウス(株)
(株)ISAO
(株)イージーネット
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
学校法人 岩崎学園
(株)インストラクション
インターネットセキュリティシステムズ(株)
インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス(株)
(株)インテリジェントウェイブ
インフォコム(株)
(株)インフォセック
(株)インプレスR&D
Impreva JAPAN
ヴァイタル・インフォメーション(株)
ウェブセンス・ジャパン(株)
ウェブルート・ソフトウェア(株)
ウチダインフォメーションテクノロジー(株)
AT&Tグローバル・サービス(株)
(株)エス・エス・アイ・ジェイ
SSHコミュニケーションズ・セキュリティ(株)
(株)エス・シー・ラボ
NRIセキュアテクノロジーズ(株)

NECエンジニアリング(株)
NECソフト(株)
NECネクサソリューションズ(株)
NTTアドバンステクノロジ(株)
NTTコミュニケーションズ(株)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)
エヌ・ティ・ティ・コムウェオ(株)
(株)NTTデータ
(株)エネルギア・コミュニケーションズ
F5ネットワークスジャパン(株)
エムオーテックス(株)
オー・エイ・エス(株)
(株)オーク電子
(株)大塚商会
(株)オレンジソフト

【か】

(株)Kaspersky Labs Japan
兼松エレクトロニクス(株)
(株)ガルフネット
関電システムソリューションズ(株)
キヤノンシステムソリューションズ(株)
キヤノンマーケティングジャパン(株)
九電ビジネスソリューションズ(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
クオリティ(株)
(株)グローバルエース
グローバルサイン(株)
グローバルセキュリティエキスパート(株)
(株)ケーケーシー情報システム
(株)コネクタス
コンピュータエンジニアリングサービス(株)

【さ】

サードネットワークス(株)
サイバーエリアリサーチ(株)
サイバーソリューション(株)
サイボウズ(株)
(株)サイロック
サン・マイクロシステムズ(株)
(株)シーエーシー

(株)シー・エス・イー
(株)シーフォーテクノロジー
(株)JMCリスクマネジメント
ジェイズ・コミュニケーション(株)
(株)JTS
JP CERTコーディネーションセンター
シスコシステムズ合同会社
(株)シマンテック
(株)ジャパンネット銀行
寿限無(株)
(株)翔泳社
(株)情報数理研究所
新日鉄ソリューションズ(株)
新日本監査法人
Sky(株)
(株)ステラクラフト
住商情報システム(株)
住生コンピューターサービス(株)
セキュアコンピューティングジャパン(株)
(株)セキュアスカイ・テクノロジー
(株)セキュアブレイン
セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン
セコム(株)
セコムトラストシステムズ(株)
(株)セラク
セントラル・コンピュータ・サービス(株)
ソニー(株)
ソフォス(株)
ソフトバンク(株)
ソフトバンクBB(株)
ソラン(株)
ソラン・コムセック コンサルティング(株)
(株)ソリトンシステムズ
(株)損保ジャパン・リスクマネジメント

【た】

大興電子通信(株)
大日本印刷(株)
(株)大和総研
(株)タクマ
TIS(株)
(株)ディアイティ
(株)ディ・エイ・ティ・エス
TippingPoint

テクマトリックス(株)
デジタルアーツ(株)
(株)電通国際情報サービス
監査法人トーマツ
東京エレクトロン デバイス(株)
東京海上日動火災保険(株)
東京日産コンピュータシステム(株)
東芝ITサービス(株)
東芝ソリューション(株)
ドコモ・システムズ(株)
凸版印刷(株)
トップレイヤーネットワークスジャパン(株)
トリップワイヤ・ジャパン(株)
トレンドマイクロ(株)

【な】

(株)ニコンシステム
西日本電信電話(株)
日商エレクトロニクス(株)
日信電子サービス(株)
日本アイ・ビー・エム(株)
日本アイ・ビー・エム システムズエンジニアリング(株)
日本SGI(株)
日本オラクル(株)
日本クロストラスト(株)
日本CA(株)
(株)日本システムディベロップメント
日本セーフネット(株)
日本電気(株)
日本電信電話(株) 情報流通プラットフォーム研究所
日本ビジネスコンピューター(株)
日本ヒューレット・パッカード(株)
日本ユニシス(株)
ネットエスアイ東洋(株)
(株)ネットシステム
(株)ネット・タイム
(株)ネットマークス
ネットワンシステムズ(株)
(株)野村総合研究所

【は】

(株)ハイエレコン
パスロジ(株)
バリオセキュア・ネットワークス(株)

(株)ハンモック
 東日本電信電話(株)
 (株)日立システムアンドサービス
 (株)日立情報システムズ **New**
 (株)日立製作所
 日立ソフトウェアエンジニアリング(株)
 (株)P FU
 (株)フォーバル クリエーティブ
 富士ゼロックス(株)
 富士ゼロックス情報システム(株)
 富士通(株)
 富士通エフ・アイ・ピー(株)
 (株)富士通エフサス
 富士通関西中部ネットテック(株)
 (株)富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ(富士通SSL)
 (株)富士通ビジネスシステム
 富士電機アドバンストテクノロジー(株)
 扶桑電通(株)
 フューチャーアーキテクト(株)
 (株)フューチャーイン
 (株)ブリッジ・メタウェア
 (株)ブロードバンドセキュリティ
 (株)ブロードバンドタワー
 (株)プロティビティジャパン
 チェック・ポイント・ソフトウェアテクノロジーズ(株)

【ま】

(株)マイクロ総合研究所
 マイクロソフト(株)
 マカフィー(株)
 松下電工(株)
 みずほ情報総研(株)
 三井物産セキュアディレクション(株)
 (株)三菱総合研究所
 三菱総研DCS(株)
 三菱電機(株)情報技術総合研究所
 三菱電機情報ネットワーク(株)
 (株)メトロ

【や】

ユーテン・ネットワークス(株)
 (株)ユービーセキュア
 横河電機(株)

【ら】

(株)ラック
 LANDesk Software(株)
 リコー・ヒューマン・クリエイツ(株)
 菱洋エレクトロ(株)
 (株)ロックインターナショナル
 (有)ロボック

【わ】

(株)ワイ・イー・シー
 (株)ワイズ
 ワンビ(株)

【特別会員】

特定非営利活動法人 アイタック
 韓国電子通信研究院
 社団法人 コンピュータソフトウェア協会
 ジャパン データ ストレージ フォーラム
 財団法人 ソフトピアジャパン
 データベース・セキュリティ・コンソーシアム
 特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会
 電子商取引安全技術研究組合
 東京大学大学院 工学系研究科
 社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
 社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
 特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会
 有限責任中間法人 日本電子認証協議会

6. JNSA 年間活動 (2007 年度)

4月	4月3日	第1回政策部会	
	4月9日	第1回西日本支部会	
	4月19日	第1回幹事会	
	4月19日	情報セキュリティ人材育成セミナーin Sapporo 後援	
	4月27日	2007年度理事会(八重洲富士屋ホテル)	
	4月25～26日	RSA Conference Japan 2007 後援	
5月	5月24～25日	SCM ソリューションフェア 2007(展示会)・SCM シンポジウム 2007(講演会)協賛	
	5月28日	第4回迷惑メール対策カンファレンス後援	
	5月30～6月1日	Linux World Expo/Tokyo 2007 後援	
	5月31日	第1回教育部会	
6月	6月6日	2006年度WG活動報告会(ベルサール神田)	
	6月6日	2007年度総会(ベルサール神田)	
	6月7～9日	第11回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム後援	
	6月11～15日	Interop Tokyo 2007 後援	
	6月22日	第2回幹事会	
	6月25日	「PKI Day 2007」セミナー(東京ウィメンズプラザ)	
7月	6月25日	「Microsoft(r) セキュリティ&マネジメント カンファレンス」	
	7月11～13日	自治体総合フェア2007協賛	
	7月12日	U40部会設立準備会主催セミナー(IJJ殿会議室)	
	7月13日	「平成19年度情報モラル啓発セミナー」(京都会場)後援	
	7月17～18日	「SANS Future Vision 2007 Tokyo」後援	
	7月18～20日	「ワイヤレスジャパン 2007」後援	
	7月20日	第2回西日本支部会	
8月	7月24日	「平成19年度情報モラル啓発セミナー」(秋田会場)後援	
	8月7日	第3回幹事会	
	8月13～17日	セキュリティキャンプ2007後援	2007年5月～
9月	9月18日	「2007年度全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(仙台)後援	2008年3月
10月	10月2日	第4回幹事会	「インターネット安全教室」開催
	10月4～6日	「ネットワーク・セキュリティワークショップ in 越後湯沢2007」後援	
	10月16日	「2007年度全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(札幌)後援	
	10月23～26日	「Black Hat Japan 2007 Briefings & Training」協賛	
	10月24～26日	モノづくりフェア 2007 協賛	
	10月26日	「2007年度全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(高松)後援	
11月	11月2～3日	「ハイパーネットワーク 2007 別府湾会議」後援	
	11月14日	「2007情報セキュリティ人材育成シンポジウム 秋」(ベルサール九段)	
	11月15～16日	「Web2.0 EXPO Tokyo」後援	
	11月16日	「2007年度全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(広島)後援	
	11月19～22日	「Internet Week 2007」後援	
	11月29日	「平成19年度情報モラル啓発セミナーin 香川」後援	
12月	12月5日	第5回幹事会	
	12月7日	「情報セキュリティ人材育成セミナー in Okinawa」後援	
	12月17～18日	「デジタル・フォレンジック・コミュニティ 2007 in TOKYO」後援	
	12月18日	「Security Day 2007」(青山TEPIA)	
	12月23日	「教育委員会と学校における教育現場のための情報セキュリティポリシー」後援	
1月	1月15日	2008年 JNSA新年賀詞交歓会	
	1月26日	「セーフティコンサート 安全・安心ふれあいフェスタ2008 IN 浦安」後援	
	1月29日	第6回幹事会	
	1月30～31日	「ソフトウェアテストシンポジウム2008 東京」後援	
2月	2月6～8日	「PAGE2008」後援	
	2月7日	「2007年度全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(大阪)後援	
	2月14日	「HOSTING-PRO 2008」後援	
	2月28日	「電子署名・タイムスタンプ普及フォーラム2008」後援	
	2月29～3月1日	拡大幹事会	
3月	3月7日	「2007年度全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(福岡)後援	
	3月28日	第7回幹事会	

★ JNSA 活動スケジュールは、<http://www.jnsa.org/aboutus/schedule.html> に掲載しています。

★ JNSA 部会、WG の会合議事録は会員情報のページ <http://www.jnsa.org/member/index.html> に掲載しています。(JNSA 会員限定です)

7. JNSAについて

■会員の特典

1. 各種部会、ワーキンググループ・勉強会への参加
2. セキュリティセミナーへの会員料金での参加および
主催カンファレンスへの招待
3. 発行書籍・冊子の配布
4. JNSA会報の配布（年3回予定）
5. メーリングリスト及びWebでの情報提供
6. 活動成果の配布
7. イベント出展の際のパンフレット配付
8. 人的ネットワーク拡大の機会提供
9. 調査研究プロジェクトへの参画

48

8. お問い合わせ

特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会 事務局

〒136-0075 東京都江東区新砂1-6-35

NOF 東陽町ビル

TEL: 03-5633-6061

FAX: 03-5633-6062

E-Mail: sec@jnsa.org

URL: http://www.jnsa.org/

西日本支部

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10

カトキチ新大阪ビル（株）ディアイティ内

TEL: 06-6886-5540

入会方法

Webの入会申込フォームにてWebからお申し込み、または、書面の入会申込書をFAX・郵送にてお送り下さい。折り返し事務局より入会に関する御連絡をいたします。

JNSA Press vol.22

2008年3月31日発行

©2008 Japan Network Security Association

発行所

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)

〒136-0075 東京都江東区新砂1-6-35 NOF 東陽町ビル

TEL: 03-5633-6061 FAX: 03-5633-6062

E-Mail: sec@jnsa.org URL: http://www.jnsa.org/

印刷

プリンテックス株式会社



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
Japan Network Security Association

〒136-0075 東京都江東区新砂1-6-35 NOF東陽町ビル1階
TEL 03-5633-6061 FAX 03-5633-6062
E-mail: sec@jnsa.org URL: http://www.jnsa.org/

西日本支部
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10 カトキチ新大阪ビル (株) ディアイティ内
TEL 06-6686-5540